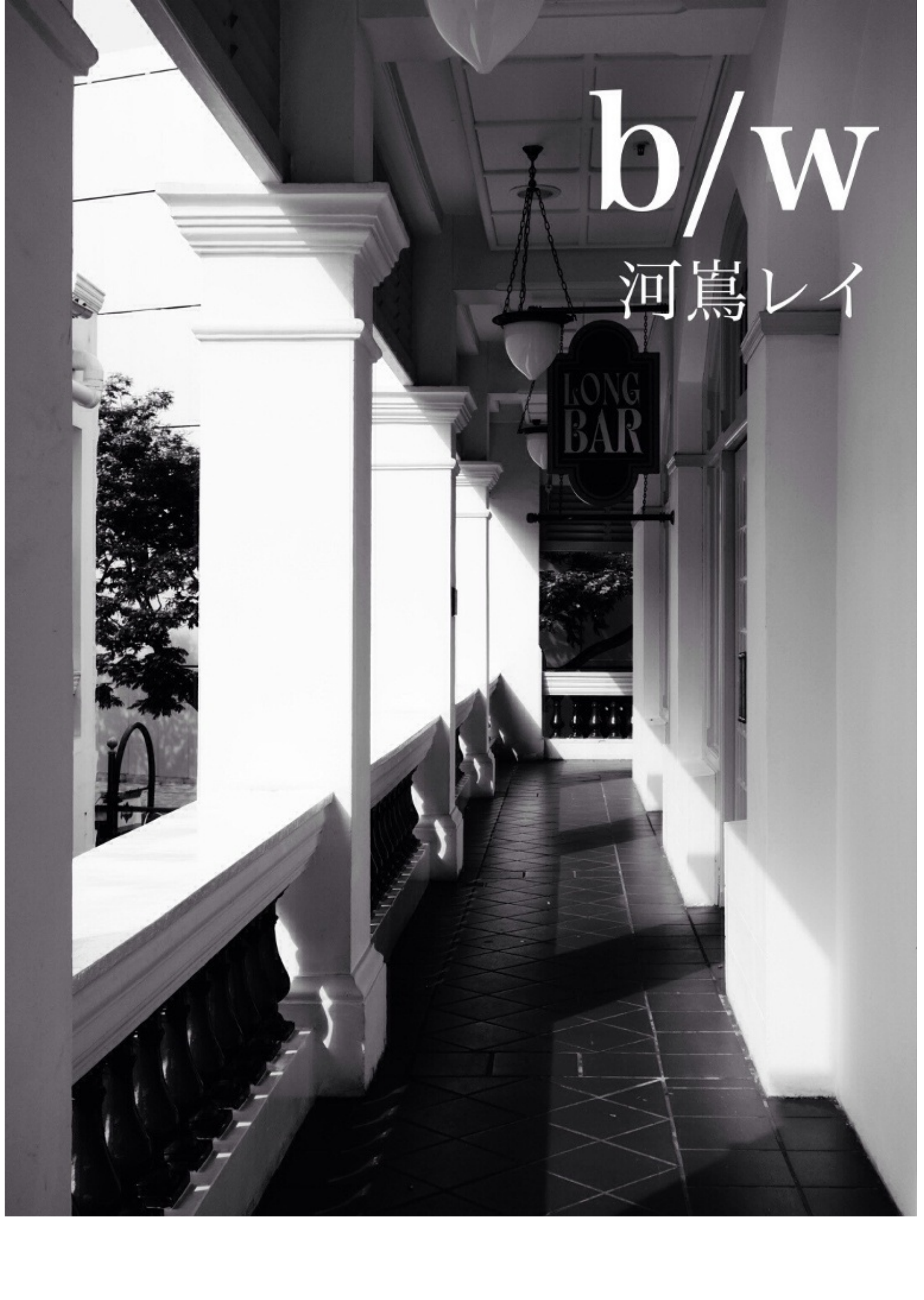
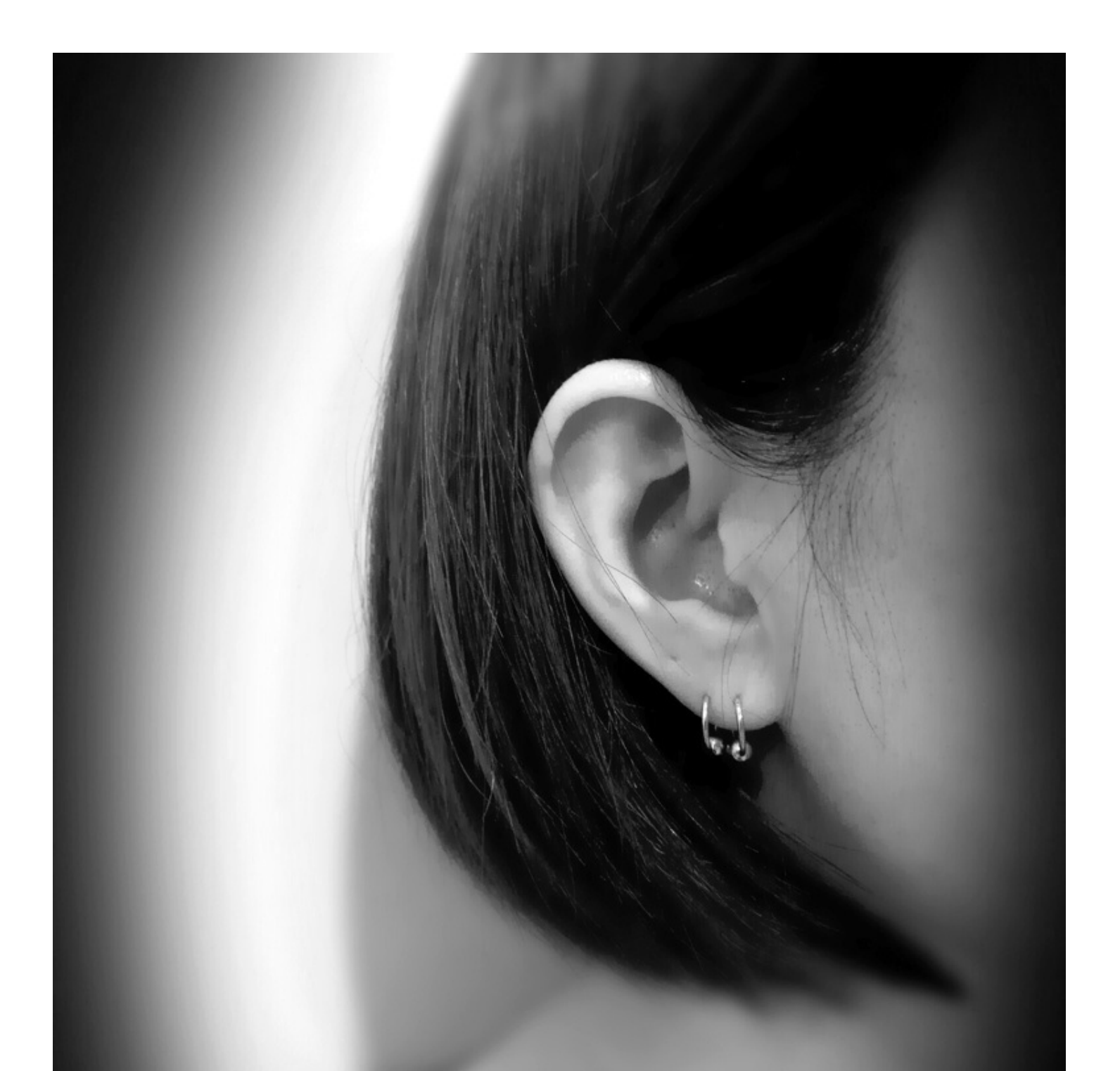


b/w

河鳶レイ

LONG
BAR

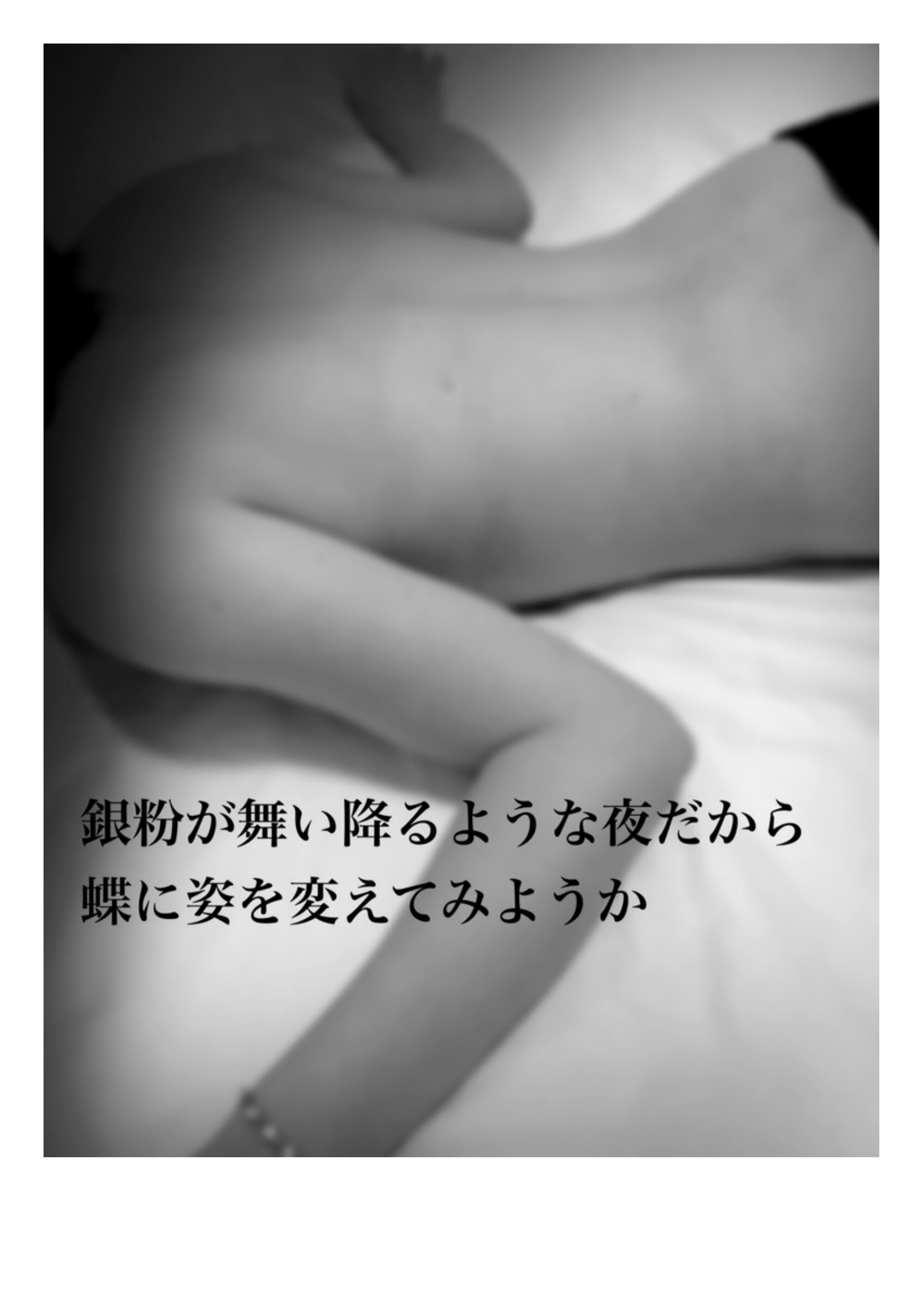




美しき誤解なのだと
耳元で重なる影に
ひとりつぶやく

重ならぬ軌跡を描く飛行機のため息ふたつ置き去りにする






銀粉が舞い降るような夜だから
蝶に姿を変えてみようか



たぶん重ならないであろう
あのひととあのひとのいる
春雨さらり

沈ませた指に絡まる体温は
三十七度 微熱を孕む





映すのは闇か光か己のウロか
伸びていくのはまぼろしばかり

b/w

<http://p.booklog.jp/book/85437>

著者：河嶋レイ

twitter: ray_kwsm

blog: http://blog.livedoor.jp/ray_kwsm/

note: https://note.mu/ray_kwsm

著者プロフィール：<http://p.booklog.jp/users/rayrayray/profile>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/85437>

ブックログ本棚へ入れる

<http://booklog.jp/item/3/85437>

電子書籍プラットフォーム：ブックログのパー（<http://p.booklog.jp/>）

運営会社：株式会社ブックログ